



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2024年3月31日



内臓脂肪測定



血圧・野菜摂取量測定



2ステップテスト



骨密度測定

### QOL健診



宮下知事がQOL健診をPR



健診結果の見方を詳しく解説

SDGs 標語コンクール受賞作品

リサイクル 1人1人が主人公

(株)青森共同計算センター 小山田 圭介氏

### SDGsのフォーラムで組合の事例を発表

青森県は、2月22日(木)に東奥日報新町ビルで「あおもりSDGsフォーラム2024」を開催し、当組合の小山田切事務局長が事例発表を行った。

県では、2023年に策定した青森県基本計画においてSDGsの理念を踏まえ施策を展開していくこととしており、企業や自治体、学生など県民が幅広く参加できるフォーラムの開催によりSDGsの取り組みの活発化を図った。フォーラムにはオンライン参加を含め約140人が参加。弘前大学大学院地域社会研究



あおもりSDGsフォーラム

## 組合員の健康づくりをサポート QOL健診を開催

組合では2月7日(水)、8日(木)の2日間、問屋町会館でQOL健診を実施した。初めて開催した昨年度の健診が好評だったため、今回は日程を2日間に拡大。参加者も前回の78名から137名に増加した。

QOL健診は弘前大学が開発した即日2時間で測定・結果通知・健康教育までを完果させるコンパクト型の健診プログラム。通常の健康診断では後日結果が届く頃には健康への関心が薄れてしまったり、結果の捉え方がわからなかったりして生活習慣の改善につながりにくいといった問題を克服するための啓発型健診となっている。

参加者は、口内の状態を調べる唾液検査、内臓脂肪や筋肉量、骨密度の測定、立ち上がりや大きく足を踏み出す2ステップテストによる運動機能チェック、専用機器を使用した野菜摂取量の判定など11項目の測定を実施。測定後は健康講義が実施され、弘前大学の中路特任教授らがメタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームなどの生活習慣病を予防するために必要な知識を紹介。その後、参加者に健診結果が手渡され見方が詳しく説明された。

参加者は「昨年も参加し、検査結果があまり良くなかった項目を1年かけて改善してきた。昨年と比べて数値が良くなっていたので、引き続き継続して開催する。」

組合では今後も組合員の健康づくり増進のため、楽しく受診でき健康教養も身につけることができるQOL健診を継続して開催する。

頑張りたい」と話した。また、8日には、宮下青森県知事も健診に参加。短命県返上を掲げる県民の健康増進につなげようとQOL健診の利用促進をアピールした。

**2024年度事業計画  
など承認  
第9回理事会**

2023年度第9回理事会が2月22日(木)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは除排雪費の中間報告やQOL健診の実施状況、事業計画立案アンケートの調査結果などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。

案件一、2024年度事業計画の骨子について

案件二、事業委員会からの意見について

案件三、環境対策委員会からの意見について

案件四、インフラ再整備推進特別委員会からの意見について

案件五、問屋町ゴールドカード事業の廃止について

案件六、青森県立美術館の文化事業への支援について

案件七、組合員跡地買取資金の借換について

案件八、2023年度第10回理事会の日程等について

**2024年度事業計画立案  
アンケート結果まとめ**

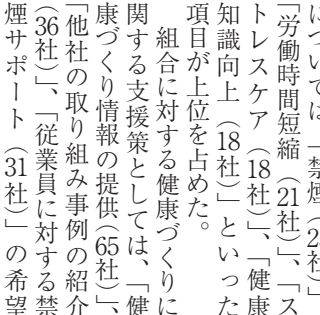
組合では2024年度の事業計画立案に向けて組合員を対象にアンケート調査を実施し、1,333社から回答を得た。調査結果は次のとおり。

組合員施設設の課題については、これまで同様「老朽化対応」が最多で59社。16社が3年以内に新築や増改築を計画していると回答した。

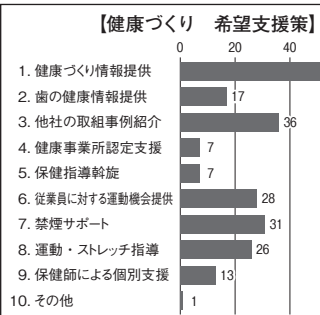
健康づくりに関する調査では、具体的な取り組みを実施している43社が回答。4年前の調査時の19社から大幅に増加し健康への意識が向上している様子がうかがえた。

実施している取り組み内容については、「禁煙(23社)」、「労働時間短縮(21社)」、「ストレスケア(18社)」、「健康知識向上(18社)」といった項目が上位を占めた。

組合が上位を占めた。組合に対する健康づくりに関する支援策としては、「健康づくり情報提供(65社)」、「他社の取り組み事例の紹介(36社)」、「従業員に対する禁煙サポート(31社)」の希望が多かった。



SDGs 達成に向けた取り組みとして、「ペットボトルキャップを集めてワクチン寄付(77社)」、「スポーツ・文化活動への支援(28社)」



企業や家庭で余っている食べ物を集めて福祉団体に寄付する「フードドライブ(20社)」等を望む声が多かった。組合ではアンケート調査結果を参考に、新年度の事業計画策定に取り組み。

**東北卸事務局職員  
研修会を青森で開催**

東北の卸商業団地の事務局職員を対象とした研修会が2月5日(月)に問屋町会館で開催され、11団地から17名が参加した。



遺跡出土品を手に取り観察

最後に、三内丸山遺跡センターから世界遺産に登録された三内丸山遺跡について講演があった。会場には遺跡から実際に出土した土器や鉄(やじり)、土偶が持ち込まれ、参加者は普段なかなか触る機会がない出土品を手に取り興味深げに観察していた。

**DXのヒントを学ぶ  
DX取り組みセミナー**

組合では2月27日(火)に、組合員の(株)青森共同計算センターと共催でDX取り組みセミナーを開催した。



DX取り組みセミナー

講師を務めた同社の三上執行役員は「なんとなくDXに取り組むと上手くいかない。まずは自社の課題を整理し、その課題解決にDXが使えるのかを検討し導入していく。DXはすぐに成果が出るものではないため、小さな取り組みからはじめることが大事」とアドバイスした。

柳谷理事長は組合役員の間、12名が参加した。柳谷理事長は組合役員の間、12名が参加した。

**柳谷理事長が中小企業庁  
長官表彰を受賞**

柳谷理事長が中小企業庁長官表彰を受賞した。同表彰は、卸団地制度創立60周年を記念して、これまで店舗等集団化事業を実施した



中小企業庁長官表彰を受賞

卸商業団地で貢献のあった者を中小企業庁長官が表彰するもの。柳谷理事長は組合役員の間、12名が参加した。

／明／日／の／設／備／を／考／え／る／

パッキン一枚からウォシュレット取付  
TOTO和洋リモデル工法、アフターメンテナンスまで  
当社へご相談ください

**株式会社ムラバヤシ**  
〒030-0131 青森県青森市問屋町一丁目8番27号  
TEL (017) 738-4165 FAX (017) 738-1852

循環型社会を目指して……

製紙原料問屋 ・段ボール・古新聞・古雑誌  
・機密文書リサイクル

**株式会社 伸和産業**  
http://shinwa-sangyou.com

青森中央営業所 青森市問屋町 2-12-14 TEL (017) 764-2755  
青森西営業所 青森市油川字岡田 122 TEL (017) 787-3455  
本社 弘前市壺田 1丁目4-2 TEL (0172) 35-5255



### 組合会館に 防犯カメラを設置

組合では問屋町会館利用者の安心と安全な環境の確保、



会館ロビーの防犯カメラ

犯罪等の抑止を目的に防犯カメラを設置した。なお、ライブ映像はロビーに設置しているモニターで公開している。

### 組合からのお知らせ

3月、4月は転勤や異動が多い時期になります。会社の代表者や団地内の責任者(支店長や所長等)に変更があった場合、卸センター総務部までご連絡ください。

### 業務報告

#### … 主要事項 …

2月 5日▽県流通団地連絡協議会

- 6日▽合同企業セミナー
- 7日▽QOL健診(8日)
- 9日▽東北卸商業団地連絡協議会幹事会・事務局職員研修会
- 13日▽問屋町新年合同厄払い
- 14日▽第2回インフラ再整備推進特別委員会
- 15日▽第2回事業委員会
- 15日▽金融審査会
- 16日▽青森県運営診断
- 19日▽第3回企画情報委員会
- 20日▽第3回環境対策委員会
- 22日▽第3回労務対策委員会
- 22日▽第9回理事会
- 26日▽でんさい活用研修会
- 27日▽DX取り組みセミナー

### 問屋町 ビジネススクール

- 1日▽習慣化のテクニクと成功率アップのコツ
- 15日▽決算書の読み方・活かし方(損益計算書編①)
- 20日▽決算書の読み方・活かし方(損益計算書編②)
- 27日▽部下を成長させる指導法

### 事務局職員 人事異動のご案内

▽退職  
総務課 五十嵐 友紀  
(3月13日付)

第72弾となる今回の経済雑感、問屋町ビジネススクール専任講師である長尾氏にご寄稿いただいた。

### 経済雑感

第一四五回

問屋町ビジネススクール  
専任講師 長尾 圭子

問屋町ビジネススクールの開校以来、講師を務めて13年目を迎えました。主に会計・総務・自己啓発に関する分野で、今さら誰かに聞くに聞けない基礎的な知識や、業務遂行の土台となるスキル等を講座で取り上げています。今回はその延長線上に主題を置き、経済を動かす経営資源のうちの「ヒト」に焦点を当ててみることにいたします。



問屋町ビジネススクール  
専任講師  
長尾 圭子 氏

「人間、この未知なるもの」  
31年前の春、開学初年度の青森公立大学に社会人入学し、当時の学長から伺ったこのひと言が、今でも私の礎となっています。ヒト、人間という言葉を使うと、自分や目の前の個人のことはなく、目に見えないほやっとまとめられた、何か捉えどころのないもののようにも思えます。しかし仕事について考えるうえでは、自分という人間、目の前の人間一人ひとりが関わっているのが経営であり、その経営によって経済が成り立っているのだと捉えなおすと、いかに多くの異なる視点で、互いにわからないことだらけの存在同士が手探りで経営しているかが見えてきます。またそれだけに思いがけない能力も生まれるのかもしれない。経済は、そんな混沌の中で動いているのです。だからこそ「人間、この未知なるもの」なのだ」と、課題におつかるたびにそう感じていまして、昨今、公私ともに話題となっている大リーガーの大谷翔平選手が、高校生の時に作成した目標達成シートの内容が注目を浴びています。このシートが原型になっているのが「マンダラチャート」というもので

す。マンダラチャートとは、難しい文章で綴られた経典をビジュアル化した仏画「曼荼羅(マンダラ)」を応用した、思考を整理するフレームワークです。目標やテーマに合わせて3×3の9マスを埋めていく「A型チャート」と、これを真ん中にさらに八方に展開していく「B型チャート」の2種類があります。目標達成の他にも、現状理解、顧客分析、年間計画、課題解決など、「ヒト」資源の味方としてビジネスに活用可能です。現在、私はこのチャート開発元の認定講師をしていますので、混沌とした私たちの思考を整理する利用法等について、次回少しご紹介してまいります。

(つづく)

人と大地のハーモニー



農業機械販売

## 株式会社 中セキ東北

青森支社  
〒030-0131 青森市問屋町2丁目11-23  
TEL 017(738)1331 FAX 017(738)8834

事務機のコンサルタント

## 青森精機株式会社



本社 ☎030-0131 青森市問屋町二丁目12番23号  
TEL (017) 738-2106(代表) FAX (017) 738-0856  
十和田営業所 ☎034-0092 十和田市西一番町10番27号  
TEL (0176) 22-3253(代表) FAX (0176) 24-1192(代表)

建設機械  
販売/リース/サービス



代表取締役 川村 有紀江

青森支店 〒030-0112 青森市第二問屋町三丁目11-16  
Tel.017-739-5771(代) FAX.017-739-5723  
(URL) http://www.hokuto.com



本社  
岩手県盛岡市中央通一丁目7番25号 TEL 019-613-6665(代)  
青森営業部  
青森県青森市第二問屋町三丁目4番12号 TEL 0172-47-7500

### 青森公立大学で合同企業セミナーを開催

県内の5つの卸団地で運営する青森県流通団地連絡協議会主催の春季合同企業セミナーが、2月5日(月)に青森公立大学で開催された。同協議会では、県内の各団地や組合員企業の知名度向上、採用機会の拡大を目的に共同求人活動に取り組んでいる。今回のセミナーは1コマ40分で行われ、全4コマ開催して延べ70名の学生が参加。各卸団地から組合員企業16社が参加して学生に業界や業務の内容、働き方等について説明した。



合同企業セミナー

交流ホールに設置された企業ブースを巡り、メモを取りながら熱心に説明を聞き、「セミナーに参加して興味が出た企業があるので、インターンシップなどに参加していきたい」と感想を述べていた。

### 高校生の企業見学受入

青森県では高校生の就職支援事業として「県内企業理解促進プログラム」を県内各所で実施しており、1月30日(火)には、市内の高校1、2年生22名が当組合を見学に訪れた。

当日は組合の小田切事務局長が講師を務め、組合の概要や流通業に関する説明に加え、企業が必要とする人材や高校生活で取り組むべきことを学生たちに伝えた。その後、共同物流センターに移動し、パレットに積まれた荷物の保管状況やフォークリフトでの作業風景を見学。積まれた荷物がハンドリフターで簡単に



学生が物流センターを見学

持ち上がる様子に驚いていた。組合では、学生の企業見学や合同企業セミナーの開催等で問屋町や流通業の認知度向上を図り、組合員の人材確保をサポートする。

### 団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、昨年7月に赴任された、(株)青森銀行問屋町支店の野口支店長にお話を伺った。

同行は昭和18年10月に創立し、昨年10月で80周年を迎えた。令和4年4月からは(株)プロクレーアホールディングスが誕生し、令和7年1月には青森みちのく銀行が発足する。「青森銀行とみちのく銀行は、それぞれ異なる社風を持っていますが、今、ワンバンクへ向けて、その違いを活かし融合していくことを目指しています。青森銀行は行政や地域を牽引する企業との取引が多く、堅実な風土が特徴です。一方、みちのく銀行は

中小企業や個人顧客との取引が多く、身近な銀行という風土があります。これからはお互いの長所を融合させることで、良い結果に結びつけていきたい」と熱く語る。



(株)青森銀行 支店長 野口 真人 氏

「今は合併を成功させるといふことに尽きます。みちのく銀行第二問屋町支店との連携を強化して来年1月を何事もなく迎え、お客様にご迷惑をかけないよう細心の注意を払ってやり遂げることが目標です。また、私が問屋町支店に着任したのがちょうどコロナ禍の影響を受けている企業に対し

てファイナンス面を中心にサポートし、様々な提案をしていきたいです。コロナ禍で傷ついた企業があれば、きちんと手当して立ち直らせ成長軌道に乗せるということが問屋町支店長としての役割、宿命だと思っております」と話す。

1回の合同清掃には私も率先して参加しています。朝の挨拶を交わしながら街の美化も整い、活気に溢れる良い街だなと実感しています」と話す。

「阪神タイガースが好きです。」

問屋町の印象について何うと「問屋町は行事が盛んで、組合員同士の仲がよい印象です。月

好きな言葉は「命もいらず、名もいらず、官位も金もいらぬ者ほど始末に困るものはない」という、西郷隆盛さんが江戸無血開城の陰の立役者と言われている山岡鉄舟さんのことを言った言葉です。私心を捨てた大義なる判断・行動ができるようになるためには、人間性や徳を磨くことが大切。そこに至らないのでまだまだ精進が必要だと思えます」と締めくくった。

(51歳)

### 編集後記

2年目となるQOL健診には2日間で137名の方々を受診いただきました。宮下青森県知事も体験にいられて大変賑やかな健診になりました。各自、身体の状態を受け止めて(立ち上がり検査でシヨクを受ける人が多数)、行動変容につながることを期待します。さて、青森県主催のおおもりSDGSフォーラム2024に登壇させていただきました。当組合で行っている取り組みを紹介するとともに、SDGSへの取り組みが業務の見直しや社員教育、若者や従業員から選ばれる会社づくりにつながることをお話ししました。また、「SDGSの先にあるもの」をテーマに弘前大学大学院の平井教授が行った基調講演では、17の目標とともに169のそれぞれのターゲットをしっかりと確認することが重要だとお話されています。広すぎる17の目標では見失いがちな部分を小さなターゲットから積み上げて考えることで、より自身の日常や取り組みとの関わりを整理しやすくなるそうです。17の目標はランダムに並んでいるわけではなく、目標の重要度を勘案して1番目から順に並んでいるそうです。つまり貧困や食糧問題、健康、教育などが優先して取り組むべき課題ということです。春闘での大幅な賃金上昇には驚きましたが、大企業でのことと対岸の火事とせず、地域中小企業も小さなところをターゲットにコツコツと生産性や収益向上など体質改善に取り組みむ必要がありそうです。…なかなか難しい課題です。(小田切)

サシはないけど味がある

青森特産

# 八甲田牛

HAKKOU DA BEEF

安全・安心低カロリー!

八甲田山麓の大自然でのびのび育つ八甲田牛は、赤肉主体で自然の旨味がたっぷり牛肉本来の味わいを実感できるナチュラルビーフです。脂肪が少なくヘルシーで、濃紅色の赤身肉は濃厚で深い旨味が自慢。霜降りの脂の旨味に比べ、牛肉本来のおいしさが実感できます。



## 一食肉総合卸 いしおか

〒030-0113  
青森市第二問屋町3丁目5-25  
TEL 017-739-8129  
FAX 017-739-4441